

創造性や豊かな心を育むまち

市民が、生きがいづくりやまちづくりへ参画するために、生涯にわたって学び合える環境を構築するとともに、文化・スポーツ活動を通じて文化の創造・継承やスポーツに触れることで、人生100年時代を心豊かに過ごせるまちを目指します。

創造性や豊かな心を育むまち

施策 5 生涯学習活動の推進

施策 6 芸術文化活動の推進

施策 7 スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実



第10回戸田市フォトコンテスト優秀賞

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	

基本目標IIに該当するSDGsの目標は、背景色をカラーで示しています。



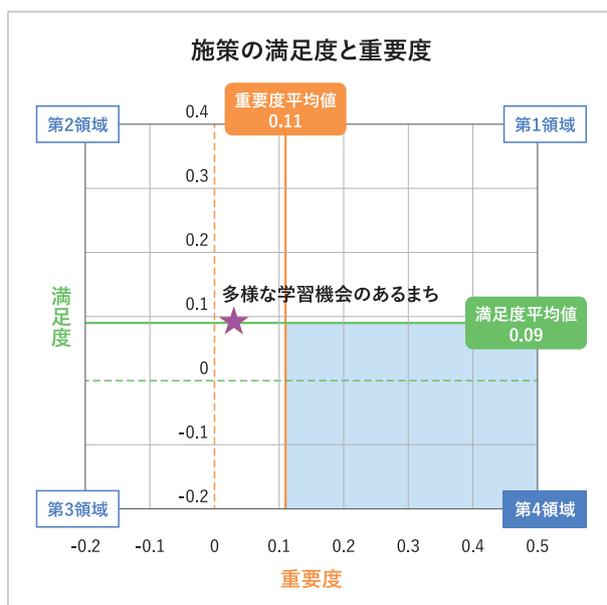
生涯学習活動の推進

【施策の目的】

市民の誰もが生涯にわたって、自ら主体的に学び、自己実現を図ることができるよう、市民協働による生涯学習環境を構築します。

現況と課題

- 人生100年時代を迎え、自分らしく豊かに生きるための生涯学習の重要性が高まるとともに、電子書籍やオンライン学習、AI^{*}活用など、テクノロジーを活用した生涯学習環境の多様化が進んでいます。国では、新しい地域づくりに向けた社会教育の方向性を示すとともに、社会教育施設に求められる役割を施設種別ごとに整理するなどリカレント教育(学び直し)^{*}の拡充を図っています。
- 戸田市民大学^{*}は開講から10年が経過し、講座の質も高まり認知度も向上しています。戸田市民大学の参加者数は増加し参加世代が拡がりつつあるものの、生涯学習事業全般で参加者の固定化と高齢化が進み、地域の生涯学習サークルの減少などの生涯学習コミュニティの停滞、図書館や公民館などの社会教育施設の活用の停滞が問題となっています。
- 社会教育を担う専門人材の不足と生涯学習事業の市民との協働体制が十分でないことが課題となっています。
- 社会教育施設の老朽化やテクノロジーを活用した生涯学習環境の整備不足、郷土博物館収蔵庫のキャパシティ不足などが見られ、生涯学習施設の量的確保や質的向上が必要となっています。





取り組みの方針

(1) 生涯学習活動の促進

- 公民館をはじめとする社会教育施設になじみが薄い若年層や地域で孤立傾向にある高齢者、外国人、現役世代などが参加しやすくなるよう、広報手法の改善や講座内容の充実を目指します。
- 公民館や戸田市民大学などで世代間交流や地域の課題解決につながる講座や取り組みを拡充し、地域の生涯学習コミュニティの活性化を図ります。

(2) 生涯学習環境を支える人材育成と体制強化

- 生涯学習事業の協働の担い手となる人材の発掘や養成、活躍する場・機会の提供を行います。
- 職能的な知識・技術の取得を目的とした教育機関等との協働による講座開催をはじめ、市民・民間企業・NPO*などの多様な担い手との連携を強化します。
- 図書館や郷土博物館、公民館などの社会教育施設における連携体制を強化し、共同事業の拡充を図ります。

(3) 社会教育施設等の充実

- オンライン学習や地域情報のデータベース化、電子図書館の導入などによる新たな生涯学習環境の整備を図ります。
- 社会教育施設の魅力増大や資料の収蔵スペース確保などの方策を検討します。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
生涯学習活動を行っている市民の割合	生涯学習活動を行っている市民の割合	40.5%	40.5%以上	【生涯学習に関する市民意識調査】減少傾向を改善
図書館を生涯学習の拠点であると感じている割合	生涯学習の拠点として、図書館を市民が気軽に利用できる施設であると感じている市民の割合	66.1%	71.1%	【生涯学習に関する市民意識調査】年1%増で推計
郷土博物館を気軽に利用できる施設であると感じている割合	戸田市の歴史の蓄積をしていく拠点として、郷土博物館を市民が気軽に利用できる施設であると感じている市民の割合	63.0%	68.0%	【生涯学習に関する市民意識調査】年1%増で推計

関連計画

- 第4次戸田市教育振興計画
- 第5次戸田市生涯学習推進計画



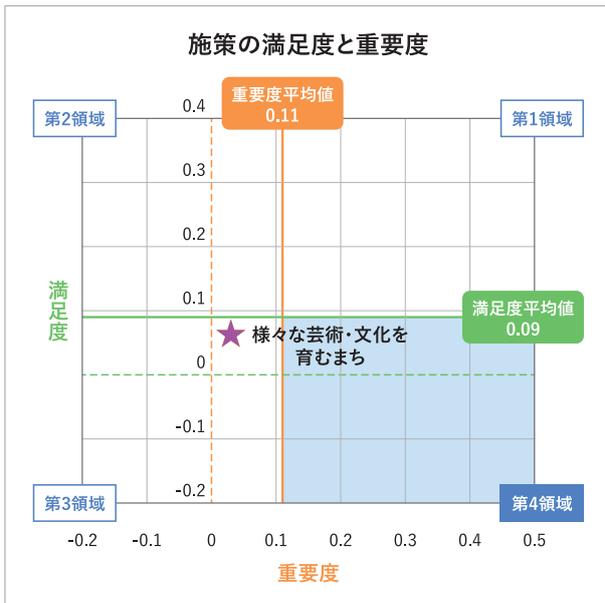
芸術文化活動の推進

【施策の目的】

市民の芸術文化に対する関心を高めるために、質の高い音楽や芸術に触れることのできる環境を整えるとともに、市民自らが活躍できる機会をつくるなど、市民の芸術文化活動を促進します。また、現在残されている文化財の記録保存を含め後世に継承するとともに、まちづくりに文化財を活用しつつ、歴史的な特色を活かした新しい価値を創造し、地域文化の向上を図ります。

現況と課題

- 地域の芸術文化活動を取り巻く環境の急激な変化によって、後継者育成や適切な人材の確保が困難となっています。また、趣味や娯楽の多様化、生活様式の変化による芸術文化に対する多様なニーズへの対応、関心を抱いてもらうきっかけの創出が難しくなっています。さらに、地域の既存団体に所属して活動することへの抵抗感や無関心が存在しており、他分野との連携による総合的な芸術文化政策の展開が必要となっています。
- 市内で活動する文化団体については、構成員の高齢化や新規加入者の減少、団体存続の危機などの問題があるため、サークル同士や連盟同士の横のつながりを強化するなど、芸術文化活動に参加しやすい環境を整える必要があります。また、幅広い世代、中でも若い世代が芸術文化に興味を持ち、活動ができるよう、身近な学びの機会を創出するとともに、効果的に情報を発信する必要があります。
- 平成31年(2019年)4月に文化財保護法の大幅な改正が行われ、未指定を含めた有形・無形文化財をまちづくりに活かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域における文化財の総合的な保存・活用と体制づくりの整備などが求められています。
- 流動的な人口、世代の変化に起因する郷土史や地域の文化財などに対する関心の希薄化などにより、市民の郷土愛を育むことが難しくなっています。また、文化財保有者の代替わりによる文化財の喪失や、インターネットでの売買による流出防止に向けた対策が必要となっています。





取り組みの方針

(1) 芸術文化活動の環境整備

- 芸術文化活動に関する事業のPRについて、幅広い世代に広報活動を行うため、学校や企業に対しても実施します。
- 芸術文化活動に関する効果的な情報発信を行い、参加者を募るとともに、事業に参加した市民に対して、関連する団体の活動を紹介するなど、周知を強化します。
- 興味関心を抱いてもらうきっかけとして、芸術文化活動の各分野でプロとして活躍している人を講師として招き、講師から直接学ぶことができる質の高い体験型の教室などを積極的に開催します。
- 興味関心のある活動を行っている団体への橋渡しや、新たな芸術文化活動を行うコミュニティ形成の支援を行います。
- 戸田市文化会館については、多様化する市民ニーズを把握したうえで、芸術文化に関する様々な鑑賞や体験プログラムを提供し、利用者満足度が高い市民の芸術文化活動の拠点を目指します。
- 子育て世代が多い戸田市では、心豊かな次代を担う人材の育成に力を入れる必要があることから、子どもや親子をターゲットとした芸術文化事業の充実を図ります。

(2) 文化財の保護と活用促進

- 文化財保護法等に基づき、従来の指定文化財を保存するとともに、より広範な文化財の保存・活用の方策を検討します。
- 歴史や文化に触れる機会をつくることで市民の郷土愛を育み、魅力あるイベントを提供することで、より多くの市民が文化財保護事業に参画できる環境を整備します。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
文化祭、音楽祭、美術展覧会の出品者数・参加者数及び鑑賞者数	文化祭や音楽祭、美術展覧会に関わる年間の総数 ①出品者数・参加者数 ②鑑賞者数	出品者・参加者数 2,012人 鑑賞者数 12,947人	出品者・参加者数 2,012人以上 鑑賞者数 12,947人以上	①②ともに減少傾向を改善
指定管理業務における文化事業の参加者数及び鑑賞者数	指定管理業務における文化事業に関わる年間の総数 ①参加者数 ②鑑賞者数	参加者数 94人 鑑賞者数 20,165人	参加者数 102人 鑑賞者数 20,165人以上	①直近3年間の最高値 ②減少傾向を改善
文化財の認知度	戸田市の文化財を認知している市民の割合	18.4%	30.9%	【生涯学習に関する市民意識調査】 年2.5%増で推計

関連計画

- 第4次戸田市教育振興計画
- 第5次戸田市生涯学習推進計画



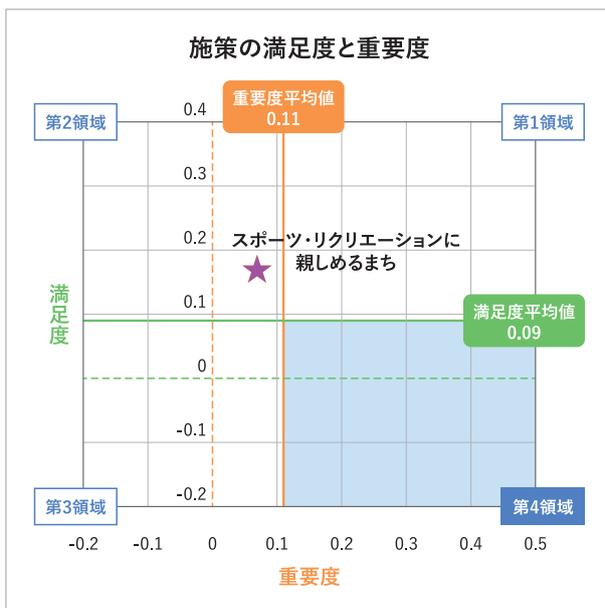
スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実

【施策の目的】

戸田ボートコースや彩湖など、地域資源を活かした、戸田市独自のスポーツ・レクリエーション活動を展開するなど、市民の誰もが年齢や体力に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができますようにします。

現況と課題

- 国では、平成29年(2017年)に策定された第2期スポーツ基本計画において、スポーツの楽しさや喜びこそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創ることを掲げています。
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会による市民のスポーツへの関心の高まりを受け、年齢や体力に応じてスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりに取り組んでいく必要があります。
- 市民がスポーツ・レクリエーションを楽しむための主な施設である戸田市スポーツセンターは、中長期保全計画に基づき施設の大規模な設備改修工事を実施するため、改修工事期間中は市民のスポーツ・レクリエーション活動の場が制限されることが予想されます。
- 市内のスポーツ・レクリエーション団体間の協力・連携が不足しがちであり、市のスポーツ推進を総合的に担っていくべき団体について、情報の一元化などを進める必要があります。
- 地域資源を活かしたボート教室等については、参加者は増加傾向にあるものの、市民クルーや指導者の育成には必ずしもつながっていないのが現状です。また、「ボートのまち戸田」の地域資源としての戸田ボートコースや彩湖の活用などが求められています。





取り組みの方針

(1) スポーツ・レクリエーション活動環境の整備

- スポーツを通じた活気あるまちづくりにつなげていくため、スポーツに関連する情報の一元化に向けて市内スポーツ関連団体と協議を進め、互いの強みを生かして協力しながらスポーツを推進する体制を構築します。
- スポーツに親しめる環境づくりのために、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ささえる」といった人々も含めたスポーツ参画人口の拡大に努めます。
- 既存施設等の資源の有効活用を図るとともに、新たにオープンした戸田市スポーツセンター屋内プールを含め、利用方法の改善や周知の充実により、誰もが使いやすい環境の整備を進めます。
- ◆ 戸田市スポーツセンターの大規模設備改修工事において、適切な改修を実施し、市民が安全で快適にスポーツ・レクリエーションをできる環境を整えます。

(2) 地域資源を活かしたスポーツ・レクリエーション活動の促進

- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会後の情勢や地域資源を活かした各種事業を展開します。また、「ボートのまち戸田」としてより多くの市民が戸田ボートコースやボート競技に関心を示すよう事業を展開します。

主要指標				
指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
スポーツ実施率	週1回以上スポーツを実施している市民の割合	32.2%	60%	戸田市スポーツ推進計画における市民アンケート調査結果を適用
スポーツ教室の参加者数	市及びスポーツセンター主催のスポーツ・レクリエーション教室の年間参加者数	52,258人	57,350人	戸田市スポーツ推進計画における市民アンケート調査結果を適用
ボート競技への関心度	ボート競技に関心のある市民の割合	36.9%	40%	戸田市スポーツ推進計画における市民アンケート調査結果を適用

関連計画

- 第2期戸田市スポーツ推進計画

基本目標 II 創造性や豊かな心を育むまち

計画推進のために

戸田市国土強靱化地域計画

戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

